

セキュリティ・ミニキャンプ in 近畿 2017 (京都)

立命館大学情報理工学部および京都女子大学現代社会学部 専攻コース新設イベント

一般講座 日時 2017年2月25日(土) 13:00～
会場 キャンパスプラザ京都
4階 第2講義室

参加は次のQRコード/URLより
受付中 (定員150名)
<http://www.goo.gl/Sa1Kpz>



参加無料

オープニング 13:00-13:10 (開場 12:30)

講演1 13:10-14:00 「国家が関与するサイバー攻撃の実態理解」

講師: 名和 利男 / サイバーディフェンス研究所 専務理事/上級研究官

概要: サイバー攻撃の実施主体は、個人から国家まで多岐に渡っており、それぞれに歴史的及び社会的な背景や必然的な要因があります。それらを網羅的に理解するために必要な事例紹介と攻撃手法を説明します。

講演2 14:00-14:50 「とあるセキュリティエンジニアの解説書 ～セキュリティリサーチャーの場合～」

講師: 辻 伸弘 / ソフトバンク・テクノロジー株式会社 シニアセキュリティリサーチャー

概要: サイバーセキュリティはあらゆる人に関係する問題です。情報システムを守るエンジニアだけではなく、セキュリティに関する情報をあらゆる人達に的確に分かりやすく伝えるエバンジェリストもまた、セキュリティ向上のために重要な役割を担っています。第一線のセキュリティエンジニアとエバンジェリストの両方の分野で活躍する辻伸弘氏には、どのようにしてセキュリティを学び、その大切さを伝える活動をするに至ったのかについてお話し頂きます。

講演3 15:05-16:05 「作るだけでは終わらない! ～安全なウェブサイト管理～」

講師: 熊谷 悠平 / 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

技術本部セキュリティセンター脆弱性分析エンジニア

概要: 今や誰でも容易に構築できるウェブサイト。しかし、ウェブサイトを作成し公開することで終わりと思いき、放置され危険な状態となったサイトが散見されます。このようなウェブサイトがどのような被害にあうか、対策と共に解説します。

講演4 16:05-16:55 「サイバー捜査官を目指して」

講師: 木村 公也 / 京都府警察本部サイバー犯罪対策課 課長

概要: まだ「サイバー」という言葉が認識されていない平成5年、我が国最初の「サイバー犯罪」が摘発されました。その後、どのような「サイバー犯罪」が現れ、どのように警察が摘発してきたかなど、サイバー捜査の歴史の一端に触れながら、現在のサイバー捜査の課題、捜査官に求められる技能、資質等についてお話しします。

クロージング 16:55-17:05

主催 立命館大学情報理工学部、京都女子大学現代社会学部、セキュリティ・キャンプ実施協議会、独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

共催 京都府警察本部、経済産業省近畿経済産業局

後援 京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、滋賀県、滋賀県教育委員会、ITコンソーシアム京都、滋賀県地域情報化推進会議、公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM)、京都中小企業情報セキュリティ支援ネットワーク (Ksisnet) 事務局、京都新聞

問い合わせ窓口

立命館大学情報理工学部サイバーセキュリティ研究室内

セキュリティ・ミニキャンプ in 近畿 2017 (京都) 一般講座 事務局

〒525-8577 滋賀県草津市野路1丁目1-1 電話/FAX 077-561-2594

E-mail camp@cysec.cs.ritsumeai.ac.jp

ミニキャンプ公式ページ (アクセスはこちら) <http://www.security-camp.org/minicamp/ink2017.html>



ミニキャンプ
公式ページ